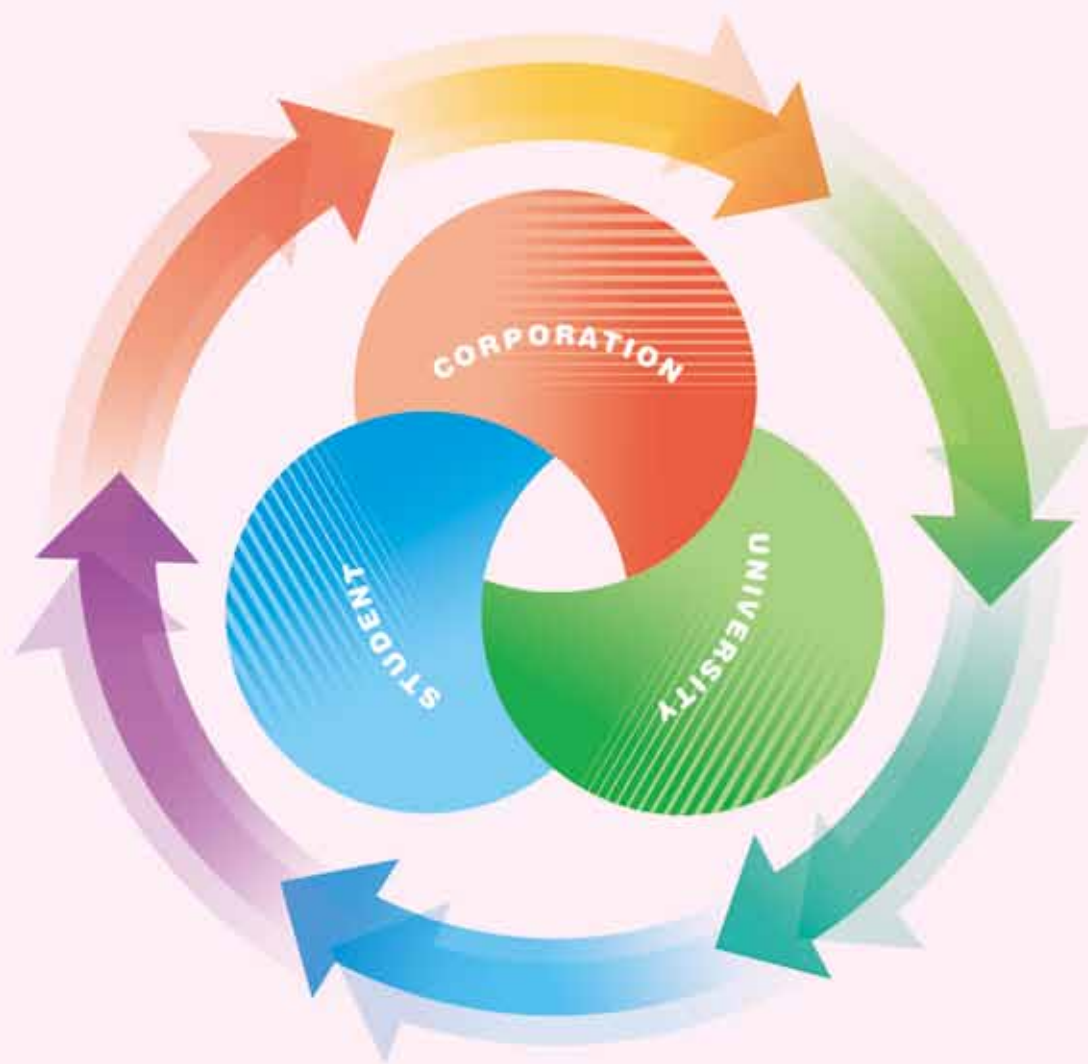


2011年度

企業人 派遣講座



財団 経済広報センター
法人

はじめに

経済広報センターは、わが国の最新の経済動向や産業の実態などについて、次代を担う大学生に実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を実施しています。1986年に早稲田大学国際部(現・国際教養学部)で開始して以来、延べ10大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特色ある事業や直面している経営課題、技術開発について、学生に語りかけてきました。

2011年度は、横浜国立大学に横浜市と共催で講座を開設し、8大学(うち3大学は同一講義をインターネット相互配信)で9講座を開設、合計110人の講師を派遣し拡充を図りました。受講した学生は、合計1,987人にのぼります。

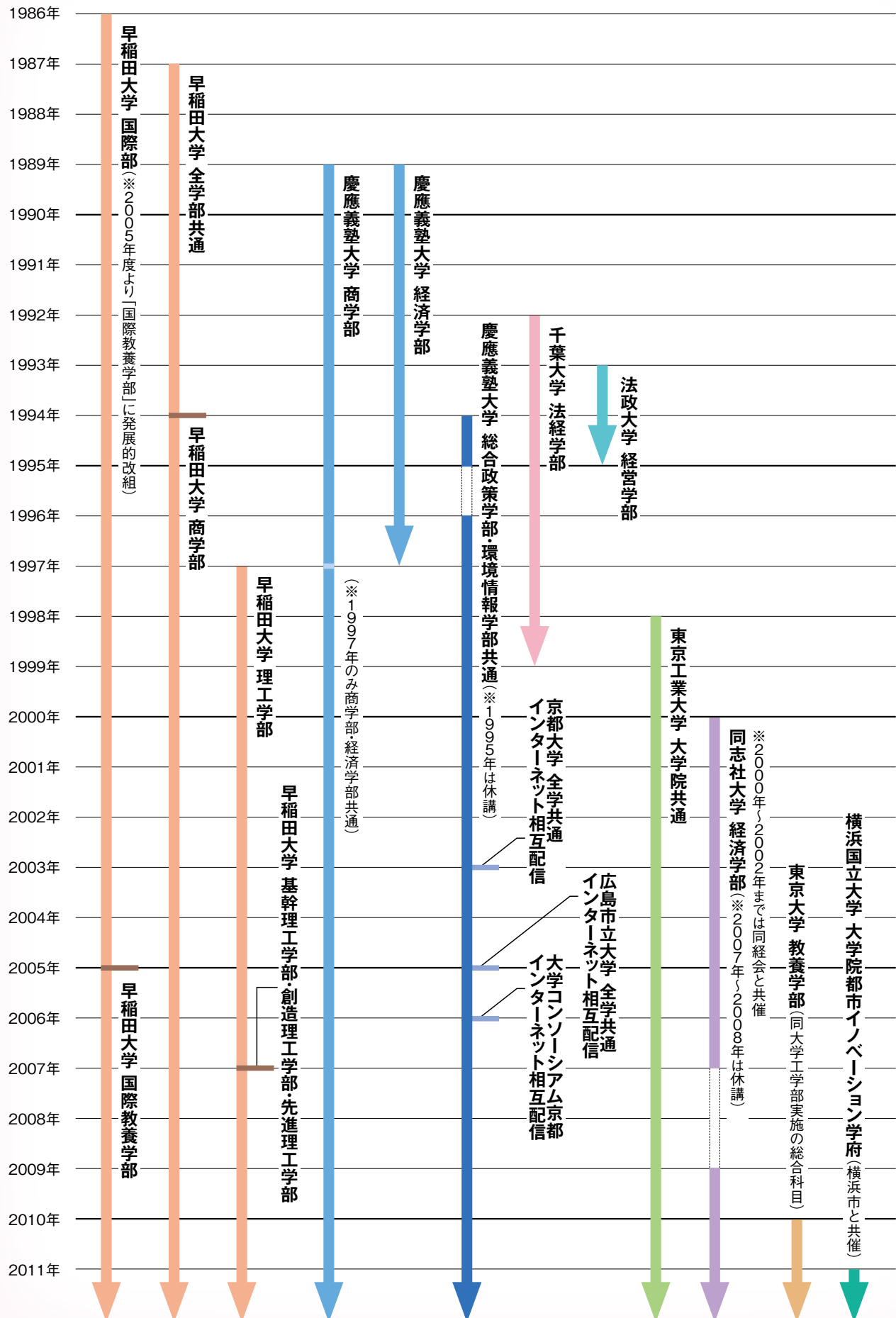
大学や学生からは、日本経済や企業の実態、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。産学連携の重要性が高まっている今日、当センターの「企業人派遣講座」への期待は、ますます高まっていると確信しております。

最後に、お忙しい中、ご出講いただきました講師の方々および関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

財団法人 経済広報センター
常務理事・事務局長

中山 洋

企業人派遣講座の経緯



2011年度

(「株式会社」「財団法人」等および敬称は省略した。企業名、部署・役職名等は出講日時点)

前期・春学期・夏学期

■ 早稲田大学 国際教養学部	
『日本企業論』	4
■ 慶應義塾大学 商学部	
『金融リスク管理』	5
■ 同志社大学 経済学部	
『科学と技術』	6
■ 東京大学 教養学部(同大学工学部実施の総合科目)	
『科学技術が拓く未来社会』	7
■ 横浜国立大学 大学院都市イノベーション学府(横浜市と共催)	
『都市マネジメント』	8

後期・秋学期

■ 早稲田大学 商学部	
『グローバル化の中でのCSRと環境問題』	10
■ 早稲田大学 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部	
『21世紀における科学技術と社会』	11
■ 慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義	
■ 京都大学 全学共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、広島市立大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義	
■ 広島市立大学 全学共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)と共通講義	
■ 大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学) 全学共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)と共通講義	
■ 東京工業大学 大学院共通	
『科学技術特論』	13

前
期
学
期
春
学
期
夏
学
期



慶應義塾大学商学部



横浜国立大学大学院都市イノベーション学府



東京大学教養学部



早稲田大学国際教養学部



同志社大学経済学部

■受講生

早稲田大学国際教養学部学生 98名

■コーディネーター

中村 清／早稲田大学 国際教養学部教授

日本企業論

～日本企業の国際戦略とその経営理念～

〔シラバス抜粋〕

We will invite businessmen as guest speakers from major corporations in automobile, electronics, financial businesses, trading, airline, and mobile to discuss issues that Japanese business and industry confront today and tomorrow. Professor Kiyoshi Nakamura moderates the classes.

The students are required to study by themselves about the related topics through newspapers and journals such as The Japan Times, Nikkei Weekly, The Wall Street Journal, The Asian Wall Street Journal, Time, Newsweek, Financial Times, etc. You can also obtain necessary information from the web sites.

Due to this unique character of the class, you are strongly encouraged to attend the class and participate in the discussion.

5月10日	日本の金融市場(1)	菊地 正俊	メリルリンチ日本証券 調査部チーフ株式ストラテジスト・マネージングディレクター
5月17日	日本の電子機器産業と国際展開	井上 武彦	パナソニック 渉外本部国際渉外グループグループマネージャー
5月24日	日本の情報通信市場と国際連携	辻村 清行	エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役副社長
5月31日	日本の自動車産業と国際戦略(1)	桐本 慶祐	トヨタ自動車 広報部企画室海外事業体支援グループ長
6月14日	日本の自動車産業と国際戦略(2)	益子 修	三菱自動車工業 取締役社長
6月21日	中間試験	中村 清	早稲田大学 国際教養学部教授
6月28日	日本の金融市場(2)	ロバート・アラン・ フェルドマン	モルガン・スタンレー証券 経済調査部部長・マネージングディレクター
6月30日	日本の航空産業と国際戦略	山路 顕	ANA総合研究所 主席研究員
7月5日	日本の総合商社と新しい展開(1)	秋元 諭宏	三菱商事 国際戦略研究所副所長
7月12日	日本の総合商社と新しい展開(2)	ラファエル・ ティンティン	三井物産 人事総務部グローバル・ダイバーシティ室兼人事企画室マネージャー
7月19日	日本のロジスティクス産業と国際展開	栢田 健	ヤマト運輸 グローバル営業部課長
7月26日 18:15-19:45	3月11日の震災とその経済的影響	中村 清	早稲田大学 国際教養学部教授
7月28日	期末試験	中村 清	早稲田大学 国際教養学部教授

■受講生

慶應義塾大学商学部 3・4年生他 355名

■コーディネーター

和田 賢治／慶應義塾大学 商学部教授

金融リスク管理

〔シラバス抜粋〕

現在金融の世界では、様々な金融商品および金融派生商品が開発され、取引所及び相対で取引されている。
 このような金融商品を取引する際には、総合的なリスク管理体制の確立が必須である。
 この寄付講座では、金融商品及び金融派生商品の総合的なリスク管理について、金融機関を中心に各企業から講師を招いて講演をしていただく。第一線で活躍されている企業の方の講演なので、講演後質問をすることによって、授業に積極的に参加してほしい。
 ご講演いただく企業としては、SMBC日興証券、メリルリンチ日本証券、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、BNPパリバ銀行、アリアンツ生命保険、富国生命保険、三菱商事、スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン、JXホールディングス、あずさ監査法人、東京証券取引所の予定である。

4月19日	オリエンテーション	和田 賢治	慶應義塾大学 商学部教授
4月26日	金融リスク管理(1)	布津 陽一郎	メリルリンチ日本証券 金融法人営業部ディレクター
5月10日	金融リスク管理(2)	青沼 君明	三菱東京UFJ銀行 融資企画部上席調査役
5月17日	金融リスク管理(3)	牧野 竜之	BNPパリバ証券東京支店 キャピタルマーケット・リスク管理部
5月22日	金融リスク管理(4)	和田 賢治	慶應義塾大学 商学部教授
5月24日	金融リスク管理(5)	下里 洋史	三菱UFJ信託銀行 経営管理部主任調査役
5月31日	金融リスク管理(6)	小林 央	富国生命保険 総合企画室副部長
6月7日	金融リスク管理(7)	加賀谷 毅	アリアンツ生命保険 執行役員マーケット・マネジメント担当
6月14日	金融リスク管理(8)	下山 陽一	三菱商事 財務部長
6月21日	金融リスク管理(9)	尼寺 啓人	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン シニア・ディレクター、ストラクチャード・ファイナンス部長
6月28日	金融リスク管理(10)	瀬戸川 隆	JXホールディングス 執行役員財務IR部長
7月5日	金融リスク管理(11)	北野 利幸	あずさ監査法人 FMG事業部シニアマネジャー
★ 7月12日	金融リスク管理(12)	平野 剛	東京証券取引所 決済管理部統括役
★ 7月19日	金融リスク管理(13)	美馬 慎太郎	SMBC日興証券 リスク管理共同部長

★ 震災による節電協力のため講義中止

■受講生

同志社大学経済学部および商学部 3・4年次生 54名

■コーディネーター

谷村 智輝／同志社大学 経済学部准教授

科学と技術 ～世界同時不況後の成長戦略～

〔シラバス抜粋〕

現代社会の動向は自然科学や技術と深く結びついており、経済現象も勿論例外ではない。科学・技術の本質や現在の状況を理解することは、現代社会の動きを理解する上で大変重要である。

本講義は、科学・技術の先端的な動向について、現実の企業活動や産業の展開との関連から学ぶ。そのために、企業や研究所から講師（ゲストスピーカー）を招き、最新のトピックスについて講義をお願いする。

4月12日	ガイダンス	谷村 智輝	同志社大学 経済学部准教授
4月19日	企業活動を支える銀行の役割	佐久間 浩司	公益財団法人国際通貨研究所 経済調査部長
4月26日	世界同時不況後の成長戦略	山口 司	本田技研工業 人事部採用グループチーフ
5月10日	JR西日本の新しい経営ビジョン	来島 達夫	西日本旅客鉄道 取締役兼常務執行役員総合企画本部長東京本部長
5月17日	世界同時不況後の成長戦略 ～グローバルに広がる空調ビジネス～	矢幡 透	ダイキン工業 人事部採用担当課長
5月24日	世界同時不況後の成長戦略 ～IRを通じた「企業価値向上」～	市田 潤一	帝人 帝人グループ理事
5月31日	世界同時不況後の成長戦略	伊藤 健一郎	デンソー 経営企画部長
6月7日	鉄鋼業における成長戦略	丸川 裕之	新日本製鐵 環境部長
6月14日	科学と技術 ～日本を支え、地域を支える企業～	佐藤 文俊	堀場製作所 常務取締役管理本部長
6月21日	エレクトロニクス業界・製造業の課題とグローバル成長戦略	藤田 英樹	パナソニック 経営企画グループグローバル調査研究チームチームリーダー
6月28日	お金による国際貢献の可能性 投資を通じて社会を動かそう!	松下 浩一	大和証券グループ本社 常務執行役員
7月5日	エアーラインのチャレンジ ～Hospitality & Global Alliance～	山路 顕	ANA総合研究所 主席研究員
7月12日	味の素グループの成長戦略 ～確かなグローバルカンパニーへ～	西井 孝明	味の素 執行役員人事部長
7月19日	日本経済の復活と日本の科学技術	谷口 正俊	大塚化学 特別顧問
7月26日	世界同時不況後の成長戦略	薬丸 法之	東芝 経営企画部企画・ブランド戦略担当グループ長

■受講生

東京大学教養学部 1・2年生 40名

■コーディネーター

高橋 浩之／東京大学 工学部システム創成学科教授

科学技術が拓く未来社会

〔シラバス抜粋〕

科学技術の発展は、産業の発展をもたらし、人間が豊かな生活を実現することに多大な貢献を果たしてきた。一方で、地球温暖化などの気候変動や大規模自然災害、希少金属や化石燃料などの資源・エネルギー問題、生物多様性などの地球規模の問題とともに、少子高齢社会を迎え 豊かで安全・安心な社会を実現するための様々な課題に直面している。

本講義では、企業の第一線で活躍する技術開発責任者や経営者が語る「未来社会」と工学部教員との間で交わされるトークを通して、科学技術が拓く未来社会について考えるとともに工学・科学技術の面白さとその多様性や実社会との繋がりについて考える。

4月13日	ガイダンス	高橋 浩之	東京大学 工学部システム創成学科教授
4月20日	生産システムの技術革新	尾高 俊一 (佐久間一郎 教授)	ファナック サーボモータ研究所サーボセンサ開発部一室室長
4月27日	まちづくりは総合アート	信時 正人 (原田 昇 教授)	横浜市 温暖化対策統括本部長
5月11日	高強度材料と制振技術が拓く自由な建築空間	勝俣 英雄 (高田毅士 教授)	大林組 技術研究所構造技術研究部長
5月18日	未来社会を拓く環境に優しい シミュレーションと新ビジネス	大崎 俊彦 (吉村 忍 教授)	先端力学シミュレーション研究所 代表取締役会長
5月25日	エネルギー源としての原子力	関村 直人	東京大学 工学部システム創成学科教授
6月1日	技術政策と企業活動にみる 技術・産業・社会の発展とこれから	窪田 明 (光石 衛 教授)	オリンパス 執行役員研究開発センター精密技術開発本部本部長
6月8日	スマートなエネルギーネットワークを目指して	谷口 治人	東京大学 大学院工学系研究科電気系工学専攻 ユビキタスネットワーク寄附講座特任教授
6月15日	放送のデジタル化でわれわれのライフスタイルは どのように変わっていくのか	久保田 啓一 (近山 隆 教授)	NHK 放送技術研究所所長
6月22日	個性的な技術開発によるGSCへの貢献	浅川 美昭 (水野哲孝 教授)	日本触媒 開発本部副本部長
6月29日	科学と技術のはざま	藤田 照典 (加藤隆史 教授)	三井化学 取締役研究本部長
7月6日	有人宇宙活動 ～人類の挑戦と日本～	山浦 雄一 (中須賀真一 教授)	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 経営企画部長
7月13日	物づくりを極める ～日本鉄鋼業の場合～	岩城 正和 (小関敏彦 教授)	新日本製鐵 代表取締役副社長

※()は担当教員

■受講生

横浜国立大学大学院生 90名

■コーディネーター

高見沢 実／横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院教授

信時 正人／横浜市 温暖化対策統括本部長

横浜国立大学 非常勤講師

都市マネジメント

～低炭素型都市づくりへ・産業界の挑戦と都市マネジメント～

〔シラバス抜粋〕

企業人やまちづくりを直接実行している実践家や、都市マネジメントの理論的な専門家を招聘する連続的な講義とし、都市作りの要諦である、都市固有のものを
知る事の重要さから始め、各種産業の内容や成り立ちをその産業界の方々から直接学ぶ機会を提供する。

又、上位概念である、都市のマネジメントについて日本とは違った海外事例を引きつつ、これからの日本の都市マネジメントの姿の最適なあり方について共に考え
創造していくことを目的とする。

ハードの整備だけではなく中身、則ち、如何なる事業及び事業体が必要なのか、そういった事業及び事業体がサステナブルになるためには如何なるマネジメントが
必要なのかを、大きな目で見た、都市のマネジメントについて講義する。

4月13日	ガイダンス／プロローグ	信時 正人	横浜市 温暖化対策統括本部長 横浜国立大学 非常勤講師
4月20日	ガイドブックにない横浜の魅力を探る	山下 英一	東北芸術工科大学 教授
4月27日	ガイドブックにない横浜の魅力を探る	橘 正年	宝さがしから地域デザインを考える会 理事
5月11日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	河合 淳也 齋藤 耕太郎	三井不動産 柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部長 三井不動産 総務部環境推進室長
5月18日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	梅原 一剛	東急ホテルズ 取締役相談役
5月25日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	深田 裕康	ローソン 地球環境ステーションマネジャー
6月8日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	篠原 哲哉	東芝 スマートコミュニティ事業統括部統括技師長
★ 6月15日	EV戦略のこれから	二見 徹	日産自動車 IT ITS開発部エキスパートリーダー
★ 6月22日	太陽光発電の現状と未来	岸村 俊二	キシムラインダストリー 代表取締役
★ 6月29日	低炭素のまちづくりを語ろう	岸村 俊二 二見 徹 信時 正人	キシムラインダストリー 代表取締役 日産自動車 IT ITS開発部エキスパートリーダー 横浜市 温暖化対策統括本部長 横浜国立大学 非常勤講師
★ 7月6日	低炭素時代の新しい都市ビジネス	岡村 久和	日本アイ・ビー・エム 公共事業スマーシティ推進部長
7月13日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	尾高 弘	資生堂 環境企画部課長
7月20日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	戸田 清志	大日本印刷 環境安全部部長
7月27日	環境配慮型の都市づくりに望む企業の挑戦	清水 今泉 岳 覚	麒麟ビール 横浜工場副工場長兼環境安全室長 麒麟ビール 横浜工場エンジニアリング担当
8月3日	総括／エピローグ	橘 正年 信時 正人	宝さがしから地域デザインを考える会 理事 横浜市 温暖化対策統括本部長 横浜国立大学 非常勤講師

★ 横浜市による公開講座、一般市民延べ133名参加

後期 秋学期



慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部共通



早稲田大学商学部



東京工業大学大岡山キャンパス



早稲田大学理工学部



東京工業大学すずかけ台キャンパス

■受講生

早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 123名

■コーディネーター

厚東 偉介／早稲田大学 商学部教授

グローバルゼーションの中でのCSRと環境問題

〔シラバス抜粋〕

本年度の寄附講座は、グローバルゼーションの中でのCSR(企業の社会的責任)と地球環境の問題を扱う。日本企業も海外での活動が定着しており、先進国だけでなく、中進国・途上国内での活動も、成果を上げ、現地での存在感も大きくなってきている。CSRも環境問題も、日本国内と途上国などの現地との取組の一貫性が強く求められている。日本企業の現地国内でのCSRや環境問題への取り組みが評価され、日本企業の現地生産は歓迎されている。(1)先進国や東欧だけでなくBRICS・アジア諸国・中近東・アフリカなどのエリア(2)産業・業種(3)各ステークホルダー、これらの3つのフレームを適宜組み合わせ、従業員・消費者・共生社会の実現・地域社会・インフラ整備・社会貢献・食の安全安心トレーサビリティ・森や水の再生・環境問題などを、最適な講師から、本や新聞などでは得られない最新の現状報告を頂きます。

9月29日	オリエンテーション	厚東 偉介	早稲田大学 商学部教授
10月6日	商社における取り組み	有山 岩田 嶋之 淳	住友商事 ニッケル新金属事業部長付 住友商事 環境・CSR部 企画チーム長
10月13日	食品産業における取り組み	中尾 洋三	味の素 CSR部専任部長
10月20日	小売業における取り組み	伊藤 利彦	セブン&アイ・ホールディングス CSR統括部CSRオフィサー
10月27日	化学産業における取り組み	高尾 剛正	住友化学 代表取締役専務執行役員
11月10日	建設機械製造業における取り組み	駒村 義範	コマツ 代表取締役副社長
11月17日	電機産業における取り組み	小堤 治	日立製作所 CSR本部副本部長
11月24日	自動車産業における取り組み	高津 功	トヨタ自動車 社会貢献推進部主査
12月1日	損害保険業における取り組み	関 正雄	損害保険ジャパン 理事CSR統括部長
12月8日	製紙産業における取り組み	八重樫 勇	王子製紙 環境経営本部副本部長兼環境経営部長
12月15日	情報通信業における取り組み	岡村 久和	日本アイ・ビー・エム 公共事業スマーシティ推進部長
12月22日	電気機器産業における取り組み	桑山 裕司	京セラ 経営企画部CSR推進課責任者
1月12日	製薬業における取り組み	金田 晃一	武田薬品工業 コーポレート・コミュニケーション部(CSR)シニアマネジャー
1月19日	建設産業における取り組み	樋口 正一郎	戸田建設 環境事業推進室長
1月26日	まとめ(試験)	厚東 偉介	早稲田大学 商学部教授

■受講生

早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 1年生以上 186名

■コーディネーター

村山 武彦／早稲田大学 創造理工学部社会文化領域教授

21世紀における科学技術と社会 ～新エネ・省エネのための科学技術の展望～

【シラバス抜粋】

本講座の前身である「21世紀に向けての科学技術と社会」は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS(Science、Technology、and Society)研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求していく。

今年度は、「新エネルギーや省エネルギーにおける科学技術の展望」を挙げた。これまでも、従来型のエネルギー資源の今後の見通しや環境負荷の低減などを背景に、新エネルギーの開発が進められてきているが、これに加えて、3月に発生した東日本大震災を契機に、エネルギーの有効利用をより一層推進しようという議論が活発になってきている。

そこで、新たに開発が進んでいるエネルギー資源に加え、省エネルギーの取り組みとして、インフラストラクチャ、運輸・流通、生活用品の各観点から、現状や今後の展望について各関係企業の方々に話題を提供していただくことを考えている。

9月27日	オリエンテーション	村山 武彦	早稲田大学 創造理工学部社会文化領域教授
10月4日	エネルギー源 ～燃料電池～	永田 裕二	東芝燃料電池システム 技師長
10月11日	エネルギー源 ～風力発電～	大塚 篤史	イオスエナジー・マネジメント(日本風力開発グループ) 企画管理部長
10月18日	エネルギー源 ～バイオマス発電～	岩井 良博	三機工業 エネルギーソリューションセンター環境エネルギー推進部部長
10月25日	エネルギー源 ～太陽光発電～	本多 潤一	京セラ 八重洲事業所 ソーラーエネルギー事業本部東京分室主幹技師
11月1日	エネルギー源 ～地熱発電～	永井 保弘	三菱マテリアル 資源・リサイクル事業本部エネルギー事業部 地熱・電力部部長補佐
11月8日	省エネルギー、インフラストラクチャ ～建築物～	嶋村 和行	大成建設 環境本部／理事副本部長
11月15日	省エネルギー、インフラストラクチャ ～燃料電池～	田中 崇	東京ガス 技術開発本部商品開発部長
11月22日	省エネルギー、運輸・流通 ～鉄道～	内田 海基夫	東日本旅客鉄道 経営企画部環境経営推進室室長
11月29日	省エネルギー、運輸・流通 ～自動車産業～	大野 栄嗣	トヨタ自動車 東京本社 環境部担当部長
12月6日	省エネルギー、運輸・流通 ～流通～	興村 徹	日本通運 業務部専任部長
12月13日	省エネルギー、生活用品 ～家電～	清水 雄一	パナソニック ホームアプライアンス社 電化機器開発センター所長
12月20日	省エネルギー、生活用品 ～情報機器～	中井 康博	日本電気 ITハードウェア事業本部 応用アプライアンス事業部シニアマネージャー
1月17日	再生可能エネルギー分野におけるNEDOの技術開発	矢部 貴大	独立行政法人 新エネルギー・ 産業技術総合開発機構(NEDO) 新エネルギー部総括グループ主任

■受講生	■コーディネーター
慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 1~4年生他 292名	小澤 太郎／慶應義塾大学 総合政策学部教授
京都大学 1~4年生 517名	中村 裕一／京都大学 学術情報メディアセンター教授
広島市立大学 1~4年生 127名	北村 俊明／広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
	前田 香織／広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
大学コンソーシアム京都単位互換参加大学・短期大学 1~4年生 8名	八木 啓介 大学コンソーシアム京都(京都大学非常勤)

21世紀の企業の挑戦

～ブロードバンド時代のビジネス戦略～

〔シラバス抜粋〕

この講座は学部学生に対して実社会への窓口となり、学生諸君が自分の将来を考える上で注目度の高い講座となっている。
ブロードバンド時代到来の下での情報通信産業の発展並びに産業全般のIT化の進展は、21世紀の経済面での我が国の国際競争力をかなりの程度決定付けると考えられる。今年度もブロードバンド時代のビジネス戦略に直接携われ、実践されてこられた方々を講師としてお迎えし、最先端の実務の現状並びに解決すべき課題を分かり易く講義して頂く事とした。また、京都大学及び広島市立大学等と遠隔授業を行う。

9月27日	ガイダンス	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授
10月4日	情報通信産業のトレンド	清水 憲人	情報通信総合研究所 グローバル研究グループ主任研究員
10月11日	ケータイの今とこれから	辻村 清行	エヌ・ティ・ティ・コム 代表取締役副社長
10月18日	デジタルコンテンツビジネスが社会構造を変えていく	中尾 光宏	凸版印刷 デジタルコンテンツソリューションセンターセンター長
10月25日	JR東日本のIT・Suica事業戦略 ～IC乗車券(Suica)がもたらすイノベーション～	椎橋 章夫	東日本旅客鉄道 執行役員IT・Suica事業本部副本部長
11月1日 (京都大発)	ネットワークロボット研究開発とビジネス化への挑戦	萩田 紀博	国際電気通信基礎技術研究所 社会メディア総合研究所長・知能ロボティクス研究所長
11月8日 (広島市立大発)	ジェネリック医薬品通知サービスなどの 医療関連情報サービスについて	西田 洋一	データホライゾン 総務部部長
11月15日 (京都大発)	人間と情報の深い理解に基づくICTの新展開	上田 修功	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 所長
11月22日 (広島市立大発 (広島市立大と京都大 のみでの配信))	自動車のモデルベースによる制御開発の取り組み	矢野 康英	マツダ パワートレイン開発本部/パワートレインシステム開発部 PT制御システム設計グループ主幹
11月29日 (京都大発)	21世紀の企業の挑戦 ～東芝の挑戦～	堀 修	東芝 研究開発センター研究企画部部長
12月6日	クラウド・コンピューティングによる変革	岡田 昭広	富士通 クラウドビジネスサポート本部本部長
12月13日	スマートフォンとソーシャルメディアが形づくる未来	林 信行	フリーランス ITジャーナリスト
12月20日	安全でグリーンモビリティ社会を目指した テレマティクスの新たな取り組み	今井 武	本田技研工業 インターネット事業室室長
12月27日 (慶大のみ講義 (京都大・広島 市立大休講))	中小企業は知恵の経営 ～創業期から成長期にかけての課題をいかに克服するか～	村上 義昭	日本政策金融公庫総合研究所 上席主任研究員
1月17日	総括	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授

■受講生

東京工業大学大学院学生 97名

■コーディネーター

奥野 喜裕／東京工業大学 大学院総合理工学研究科教授

科学技術特論

～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

全研究科大学院学生を対象に、産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講します。日本を代表し、また世界でも活躍されている産業界のトップ、研究開発部門のエキスパートの方々の講義であり、産業界あるいは企業と大学との接点を見出し、それぞれが描く将来展望のすりあわせを図ります。研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた大学院学生諸君にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待しています。各講義では、討論の時間を可能な限り多く設け、受講生と講師の対話を大切にします。

10月5日	ガイダンス	奥野 喜裕	東京工業大学 大学院総合理工学研究科教授
10月12日	二酸化炭素削減に向けた日本と世界の動向	中村 秀臣	三菱総合研究所 総合リスク・管理部長
10月19日	太陽光発電システム導入の現状と将来展望	中村 京太郎	シャープ ソーラーシステム開発本部 次世代要素技術開発センター第一開発室副参事
10月26日	エネルギーと気候変動	中山 寿美枝	電源開発 経営企画部地球環境室室長代理総括マネージャー(戦略)
11月2日	風力発電の現状と展望	福島 知之	北海道電力 工務部電力システムグループリーダー
11月9日	燃料電池コジェネレーションシステムの将来展望	田中 崇	東京ガス 技術開発本部商品開発部長
11月16日	自動車業界におけるエネルギー・環境先端技術	大野 栄嗣	トヨタ自動車 東京本社 環境部担当部長
11月30日	バイオマスによる分散型ガス化発電	渡辺 達也	川崎重工業 産機プラント総括部副総括部長理事
12月7日	原子力発電の現状及び先進的原子力発電への展望	藤田 玲子	東芝 電力システム社電力・社会システム技術開発センター技監
12月14日	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術	木下 陽介	全日本空輸 整備本部原動機センター TEAM原動機生産業務部生産技術課リーダー
12月21日	発電用ガスタービン技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱重工業 高砂製作所ガスタービン技術部部長
1月11日	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役



2011年度

企業人 派遣講座

財団
法人 経済広報センター

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

TEL:03-6741-0021 FAX:03-6741-0022

<http://www.kkc.or.jp/>

「企業人派遣講座」ホームページのご案内

これまでの講師や企業・団体の一覧を
経済広報センターのホームページで
ご覧になることができます。

経済広報センター 企業人派遣講座

検索

